

私たちの街を きれいに!



毎年、若葉の芽吹く時期、歩道や公園のベンチの下に捨てられたたばこの吸い殻、道路脇に転がっている空き缶など、いろいろなところにポイ捨てされたごみが目立つようになります。また、電柱や街路灯に張られたさまざまな張り紙や張り札によって、美観が損ねられているところもあります。街は、ごみ箱ではありません。これからは、みんなで、地域と一緒に、さわやかな街づくりをしませんか？



▲冷たい水の中から
ごみを拾いました

若葉がさわやかな季節、地域の青少年育成委員の呼び掛けで、真駒内中学校と真駒内曙中学校の生徒たちが、真駒内公園内の水路清掃をしました。真駒内地区の二つの中学校が、一つの行事を行うのは今回が初めてです。

参加したのは、両校の運動部を中心とした生徒七十四人。汚れている水路に入り、手で川底を探ると、秋から溜まっている枯れ葉や枯れ枝、空き缶やペットボトルなどが随分と出てきます。

同じ部活の仲間と参加した真駒内曙中学校野球部キャプテンの和泉朋宏くんは、「公園を散策している人が、ご苦労さまと声掛けしてくれたことが励みになりました。自分たちで水路をきれいにすること

びみのない街にー!
ポイ捨てをしない、させない



▲枯れ葉、枯れ枝を取り除くと
水の流れが良くなりました

ともいい経験になりました。今後もこのような活動をしていきたい」と額にうっすらさわやかな汗を浮かべながら作業していました。

捨てられたごみを拾う活動ばかりではなく、ポイ捨てをさせない取り組みをしている人たちもいます。

真駒内地区連合町内会女性部の皆さんは、毎年春と秋の二回、地域のポイ捨て防止活動を行っています。

同会女性部長の横堀道子さんは、「年々ごみが少なくなってきました。ポイ捨てをする人がいなくなれば、街が汚れることはありません。活動している私たちも、ポイ捨